シニア産業カウンセラー育成講座

分野Ⅳ シニア産業カウンセラーとしての素養的能力

オンライン
[Zoom]

No.22

レポート・報告書作成の研究的視点と実践的理解

企業等に分かりやすく納得性のある提案書や調査レポートを書くことができる、というのはシニア産業カウンセラーの必須の技能の１つである。そのためには求められた課題の意味を正確に捉え、感想文や単なる知識の羅列ではない、エビデンスに基づく論理的な文章が書けるようになる必要がある。そこで講座での学習は以下の３点を学ぶことを目的とする。

１．事例（ケース）や調査活動などを論理的に整理し文章化する要領を学ぶ。
２．問題意識の持ち方、実態の把握や仮説の設定、その検証などの“研究的な視点”を育成する。
３．以上を踏まえてシニア産業カウンセラー育成講座の修了レポート等の文書作成を適切にできるようになる。

日時
2027年2月6日(土)
10:00～17:00

場所
オンライン（Zoom）
※パソコンやインターネット環境は各自でご用意ください。

定員・費用
18名（最少催行人数：10名）
資格登録会員16,500円（税込）
一般　18,150円（税込）

受付期間
2026年11月2日～11月10日
※定員を超える申し込みがあった場合は、抽選となります。
※定員に達していない場合は、先着順で募集を継続します。

申込方法
本部HPのシニア育成講座から
https://www.counselor.or.jp/portals/0/senior/

事前学習

１．別途指定する課題図書を読んで概略を理解しておく。
２．課題図書の読了を踏まえて別途指定するテーマについて2000文字程度の小論文をまとめ、期日までに事務局へメールで送付する。

講師

原 裕視 先生
(当協会シニアアドバイザー　臨床心理士　公認心理師)

（一社）日本産業カウンセラー協会 九州支部